

令和6年度学校評価 教職員アンケート集計結果について（考察）

長崎県立島原特別支援学校

- 1 実施期間 令和6年12月4日（水）～12月18日（水）
- 2 回収率 教職員 90%
- 3 考察 成果を○、課題を●で表しています。

【教職員評価】

○全体的な評価（総計中央値）は、3.6ポイントで、保護者評価を0.1ポイント下回る結果である。

○各評価項目については下記のとおり。

〈教育活動〉 3.6ポイント（中央値） 保護者評価を0.1ポイント下回る

〈教育環境〉 3.4ポイント（中央値） 保護者評価を0.4ポイント下回る

〈開かれた学校〉 3.7ポイント（中央値） 保護者評価を0.1ポイント下回る

○評価が高かった項目（平均3.8ポイント以上）は下記のとおり。

〈教育活動〉

項目 1 「学校の教育目標や指導方針は適切である。」

〈開かれた学校〉

項目 16 「学校は、保護者からの連絡や相談に対して、適切に対応している。」

教職員は学校教育目標や指導方針に賛同し、日々の教育活動を展開している。また、保護者に対して真摯に対応することを心がけている結果であると推察される。

●評価が低かった項目（平均3.6ポイント以下）

〈教育活動〉

項目 2 「学校は、子供の自立を目指した小中高一貫性のある教育活動を行っている。」

項目 5 「学校は、「個別の教育支援計画」を活用し、子供のめざす姿を見据えた指導を進めている。」

項目 6 「学校は、子供の成長に合わせ、将来を見通した進路指導を行っている。」

項目 7 「学校は、子供の変容や課題等について、保護者に分かりやすく説明するよう努めている。」

項目 8 「学校は、社会生活に必要なマナーやルールを適切に指導している。」

項目 9 「学校は、子供の実態や特性に合わせて学校行事等を計画・実施している。」

〈教育環境〉

項目 11 「学校は、よく清掃がなされ、教育活動に必要な施設・設備が整備されている。」

項目 12 「学校は、わかりやすい案内表示や校内掲示（児童生徒の作品展示を含む）をしている。」

〈開かれた学校〉

項目 14 「学校は、学校間や地域との交流活動に努めている。」

項目 17 「PTA活動は、保護者と協力して適切に行われている。」

教職員は、子供の将来ならびに自立と社会参加のため、小中高一貫性のある教育活動の充実に向けた指導内容や指導体制に加え、行事や交流活動の検討充実の必要性を感じている。

また、本人及び保護者がめざす将来の姿を見通した進路指導の充実や個別の教育支援計画の活用の必要性を感じている。

教育環境については、清掃をはじめ、教育活動に必要な施設設備の整備充実を課題として感じている教職員が多い。

P T A活動については、保護者評価同様に、一部の保護者の負担が大きく、保護者全体と学校との協力連携体制が十分とれていない結果だと推察される。

●自由記述にて、下記の指摘があった。各学部や各校舎で対策を検討し対応していく。

- ① 業務の削減について（小）
- ② ヒヤリハット事例の共有について（小）
- ③ 話しやすい・意見を言いやすい・相談しやすい雰囲気づくりについて（小）
- ④ 登校時間帯の保護者の連絡協力について（中）
- ⑤ 生徒に対する言葉遣いについて（中）
- ⑥ 教科の授業に対する管理職の指導助言について（高）
- ⑦ 生徒の自己決定を尊重できる環境づくりについて（高）
- ⑧ 中高職員の乗り入れによる学部間連携の強化について（高）
- ⑨ 防災対策として蓄電池・発電機の設置について（分）
- ⑩ 環境整備や物品購入の事務業務支援について（分）